

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	2			シート作成者	-	-	
事務事業名	都市計画法第29条における開発許可			事務区分	自治事務	部課かい名	都市部 開発審査課
事業の目的	許可基準に適合しているか否かの審査を行い、適正かつ迅速に処理する。			事業の目標	開発許可制度を活用した良好な宅地水準の確保		
事業の概要	許可申請に係る書類・図面等の内容が、許可基準に適合しているか否かを審査する。 開発登録簿の閲覧および写しの交付をする。						
対象	開発事業主			事業の性質区分	定例・定型	業務計画	■
指標	許可件数(第2次実施計画) 適正処理率(許可件数)(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
68件	68件 (100%)	100%		100%		100%	
				※金額については1円単位で記入してください			
事業費	実施計画事業費	27年度	28年度	29年度	30年度		
		-	77,000	74,000	62,000		
	予算額	74,850	76,408				
	決算額	49,409					
	執行率	66.0%					
	従事者数	1.02	1.17				
財源内訳	職員	1.02	1.08				
	臨時・非常勤等		0.09				
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	74,850	76,408				
	一般財源						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>開発許可制度の趣旨である無秩序な市街化を防ぎ、公共施設や排水設備等必要な施設の設備を義務づけるなど良質な宅地水準を確保し、住民に健康で文化的な居住性の高い生活環境の保障や機能的な土地利用計画を確立するため、個々の宅地開発などに際して一定の基準に従い、指導・助言を行うことが求められている。</p> <p>併せて、都市計画法第46条および第47条において、開発登録簿を調製・保管することとなっており、常に公衆の閲覧に供するよう保管、かつ、請求があったときにその写しを交付しなくてはならないとされている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>許可申請の審査については、土地利用の相談内容が煩雑化傾向にある中で、専門的な知識を有する職員が庁内調整および公共施設の管理者との協議・初期誘導に重点を置くことで申請に係る書類・図面等の内容が、許可基準に適合しているか否かを適正かつ迅速に処理(審査)することができた。</p> <p>開発登録簿については、年間の交付件数が700件程ある。</p>
事務効率	<p>許可申請については、専門性が問われる分野であることから、近隣市との協議会等を活用し事例の検証・研究を行い、実務に活かす。</p> <p>開発登録簿は、紙ベースで調書と図面(各サイズ)によって調製されている。図面によっては、A4からA1のサイズ等あり、年度が古い開発登録簿ほど図面が大きくなっており、図面がA3だった場合の交付時間については、概ね10分を要するが、図面の大きさにより窓口のお客様をお待たせしている状況が目立っている。</p> <p>また、開発登録簿については昭和40年代のものもあり、紙の消耗・劣化は防ぐことができない。</p> <p>これらのことから、開発登録簿の保管および写しの交付について、電子化することが必要である。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>開発登録簿の写しの交付では、図面類を複写する際、必要に応じて複写と切り張りを行い1枚の図面に行っている状況であり、図面作成に時間(人件費)を費やすうえ、窓口の市民をお待たせしている状況がある。</p> <p>また、登録簿は紙ベースで保存されており、バックアップについては、開発の許可に係る図面をマイクロフィルムに焼き付け『アーチャアカード』として保存していたが、閲覧および印刷するリーダープリンターの生産が終了となり確保が困難となっていることに加え、図面類についても経年劣化に伴い薄くなっている部分が見受けられ、既存登録簿のバックアップおよび閲覧の方法を考える必要がある。</p> <p>このような状況の対応策とし、開発登録簿を電子化し、データ化することにより汎用性を持たせ、操作性(検索機能のベース)および保守性(図面の維持管理)を向上させ、隣課のプロッターに接続することで、作業時間を短縮することができ、事務の改善が図られ、窓口サービスの向上に繋がる。(茅ヶ崎市地域情報化計画 平成28年度3月へ位置づけ)</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]